

問1 だ液や、胃から出される胃液のように、体の中で食べ物を消化するはたらきをする液のことをまとめて何といいますか。

問2 消化された食べ物の養分は、おもに体のどの部分で吸収されますか。

問3 かん臓が、体の中でできたアンモニアをによう素につくり変えるのはなぜですか。

問4 だ液のはたらきによって、別のものに変化させられる食べ物の中の成分は何ですか。

問5 ヒトが体の中から外へ吐き出す^{はきだす}空気のこと、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多く^{ふく}まれているものを何といいますか。

問6 空気中の酸素の一部を体にとり入れ、体の中でできた二酸化炭素を外にはき出すはたらきのことを何といいますか。

問7 私たちの体の中で、血液を全身に送り出すはたらきをしている臓器はどれですか。

問8 食べ物に含まれる^{ふく}水分が、小腸や大腸で体の中に^こ取り込まれることを何といいますか。

問9 じん臓の調節機能では、血液から不要物をこしとった後に、体の中の状態を保つためにどのようなことを行っていますか。

問10 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。

問11 消化液のなかまで、胃から出されて消化のはたらきをする液は何ですか。

問12 ヒトの体の中で、消化された養分がおもに吸収される器官はどこですか。

問13 魚が呼吸をするために使っている、水の中から酸素をとり入れるための器官は何ですか。

問14 心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。

問15 食べ物に含まれる^{ふく}水分は、主にどの臓器で吸収されますか。

問16 小腸という器官では、おもにどのようなはたらきが行われていますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 消化液	食べ物を消化するはたらきをする液のことを消化液といいます。だ液や胃液などがこれにあたります。
問2	答え 小腸	消化された食べ物の養分は、おもに小腸で吸収されます。
問3	答え 有毒なアンモニアを無毒な物質にするため。	アンモニアは体にとって有害な物質であるため、かん臓で無毒な尿素という物質につくり変えられます。
問4	答え てんぷん	だ液には、食べ物に含まれている ^{ぶく} てんぷんを別のものに変化させる性質があります。
問5	答え はいた息	ヒトが体の中から吐き出す ^{はきだす} 空気のことを「はいた息」といいます。吸う息に比べて、酸素が減って二酸化炭素や水蒸気が増えているのが ^{とくちょう} 特徴です。
問6	答え 呼吸	空気中の酸素を体にとり入れ、体内でできた二酸化炭素を外に出すはたらきを呼吸といいます。
問7	答え 心臓	血液を全身に送り出すポンプのようなはたらきをしている臓器は心臓です。
問8	答え 水分の吸収	食べ物に含まれる ^{ぶく} 水分が、小腸や大腸から体の中に取り込まれることを「水分の吸収」といいます。
問9	答え 必要な物質を血液中也もどし、塩分や水分の量を一定に保つ。	じん臓の調節機能は、こしとったものの中から必要な物質を再び血液中也もどし、体の中の水分や塩分の量を一定に調節しています。
問10	答え 尿素	タンパク質が使われたときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒に変えた物質を尿素といいます。
問11	答え 胃液	胃から出されて消化のはたらきをする消化液は胃液です。だ液は口から出される消化液です。
問12	答え 小腸	消化された養分がおもに吸収される器官は小腸です。
問13	答え えら	魚は「えら」という器官を使って、水の中で呼吸をしています。
問14	答え 血液	心臓はポンプのように動くことで、血液を全身に送り出すはたらきをしています。
問15	答え 小腸や大腸	食べ物に含まれる ^{ぶく} 水分は、主に小腸や大腸という臓器で体に吸収されます。
問16	答え 消化された養分を吸収する。	小腸は、消化された養分をおもに吸収する役割をもっています。

問1 手首などで感じるることができる脈はくどのテンポ（速さ）は、体の中のあるものの動きと同じですが、それは何ですか。

問2 口から入った食べ物が、食道、胃、小腸、大腸を通過して、こう門から外に出るまでの一本の長い通り道のことを何といいますか。

問3 胸の左右にあり、吸った空気から酸素を血液中にとり入れ、二酸化炭素や水（水蒸気）を外へはき出すはたらきをしている呼吸のための器官はどれですか。

問4 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に吸い込む^{すいこむ}空気のことを何といいますか。

問5 心臓から送り出された血液は、からだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、かわりに何を受けとって心臓にもどりますか。

問6 心臓が縮んだりゆるんだりして、体の中に血液を送り出す動きのことを何といいますか。

問7 小腸で吸収された食べ物の養分は、何に入って全身に運ばれますか。

問8 ぼうこうは、じん臓でつくられたようをどのようにする場所ですか。

問9 魚が呼吸をするために使っている、水の中から酸素をとり入れるための器官は何ですか。

問10 小腸という器官では、おもにどのようなはたらきが行われていますか。

問11 ヒトの体の中で、消化された養分がおもに吸収される器官はどこですか。

問12 心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。

問13 体の中でできた不要なものうち、血液の中の不要なものや余分な水分がじん臓でこし出されてできた液体は何ですか。

問14 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。

問15 肺に送られて二酸化炭素を出し、酸素をとり入れて、ふたたび心臓にもどるもののことを何とよびますか。

問16 魚の「えら」には血管が通っていますが、えらは水の中でどのようなはたらきをしていますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 心臓のはく動	脈はくのテンポ（速さ）は、心臓が血液を送り出すときはく動と同じになります。
問2	答え 消化管	食べ物が通る、口からこう門までつながった一本の通り道のことを消化管といいます。
問3	答え 肺	胸の左右にあり、酸素をとり入れて二酸化炭素や水をはき出す呼吸のための器官は肺です。
問4	答え 吸う息	ヒトが呼吸で体の中に取り入れるまわりの空気のことを「吸う息」といいます。
問5	答え いらなくなった二酸化炭素	血液はからだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、不要になった二酸化炭素を受けとって心臓へ ^{もど} っていきます。
問6	答え はく動	心臓が縮んだりゆるんだりして血液を送り出す動きを「はく動」といいます。
問7	答え 血液	小腸で吸収された養分は、血液に入って全身に運ばれます。
問8	答え からだの外に出す前に一時的にためておく	ぼうこうは、じん臓でつくられたを、からだの外に出す前に一時的にためておく役割をもっています。
問9	答え えら	魚は「えら」という器官を使って、水の中で呼吸をしています。
問10	答え 消化された養分を吸収する。	小腸は、消化された養分をおもに吸収する役割をもっています。
問11	答え 小腸	消化された養分がおもに吸収される器官は小腸です。
問12	答え 血液	心臓はポンプのように動くことで、血液を全身に送り出すはたらきをしています。
問13	答え によろ	血液の中の不要なものや余分な水分がじん臓でこし出されてできた液体は、によろです。
問14	答え によろ素	タンパク質が使われたときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒に変えた物質をによろ素といいます。
問15	答え 心臓にもどった血液	肺で二酸化炭素を出して酸素をとり入れた血液は、ふたたび心臓にもどります。
問16	答え 水の中に溶けている酸素をとり入れ、二酸化炭素を水の中に出す。	えらに通っている血管を通して、水の中に ^と 溶けている酸素を体にとり入れ、二酸化炭素を水の中に出しています。

問1 肺に送られて二酸化炭素を出し、酸素をとり入れて、ふたたび心臓にもどるものごを何とよびますか。

問2 小腸という器官では、おもにどのようなはたらきが行われていますか。

問3 ヒトが体の中から外へ吐き出す^{はきだす}空気のごで、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多くふくまれているものを何といいますか。

問4 全身にはりめぐらされた血管の中を流れ、酸素や二酸化炭素、養分などを運ぶはたらきをしている液体は何ですか。

問5 食べ物に含まれる^{ふく}水分が、小腸や大腸で体の中に^こ取り込まれることを何といいますか。

問6 小腸で吸収された食べ物の養分は、何に入って全身に運ばれますか。

問7 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。

問8 血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、必要なものを運んで再び心臓へ^{もど}戻る一連の流れを何といいますか。

問9 かん臓が、体の中でできたアンモニアを^{しぼう}によう素につくり変えるのはなぜですか。

問10 かん臓でつくり出され、^{しぼう}脂肪の消化を助けるはたらきをもつ消化液は何ですか。

問11 運動をしたときに、心臓が速く動くことによって、ふだんよりも数が増えるものはどれですか。

問12 肺に送られた血液が、二酸化炭素を出して酸素をとり入れたあと、この血液はどこへ向かいますか。

問13 心臓から送り出された血液が、全身に運ばれたときに、からだの各部分にわたすものは何ですか。

問14 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に^{すいこむ}吸い込む空気のごを何といいますか。

問15 運動をしたときに、ふだんよりも脈はく数が増えるのはなぜですか。

問16 血液から不要物をこしとるだけでなく、必要な物質を血液中にもどしたり、血液中の塩分や水分の量を調節して一定に保ったりするじん臓のはたらきを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 心臓にもどった血液	肺で二酸化炭素を出して酸素をとり入れた血液は、ふたたび心臓にもどります。
問2	答え 消化された養分を吸収する。	小腸は、消化された養分をおもに吸収する役割をもっています。
問3	答え はいた息	ヒトが体の中から吐き出す空気のことを「はいた息」といいます。吸う息に比べて、酸素が減って二酸化炭素や水蒸気が増えているのが特徴です。
問4	答え 血液	全身の血管の中を流れて、酸素や二酸化炭素、養分などを運ぶ液体は血液です。
問5	答え 水分の吸収	食べ物に含まれる水分が、小腸や大腸から体の中に取り込まれることを「水分の吸収」といいます。
問6	答え 血液	小腸で吸収された養分は、血液に入って全身に運ばれます。
問7	答え よう素	タンパク質が使われたときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒に変えた物質をよう素といいます。
問8	答え 血液の循環	血液が心臓から送り出されて全身をめぐる、再び心臓へ戻る流れを「血液の循環」といいます。
問9	答え 有毒なアンモニアを無毒な物質にするため。	アンモニアは体にとって有害な物質であるため、かん臓で無毒なよう素という物質につくり変えられます。
問10	答え たんじゅう	かん臓でつくられ、脂肪の消化を助ける消化液はたんじゅうです。
問11	答え 運動時の脈はく数	運動をすると心臓が速く動くため、手首などで測る脈はくの数かふだんよりも増えます。
問12	答え 心臓	肺で二酸化炭素を出し、酸素をとり入れた血液は、ふたたび心臓にもどります。
問13	答え 酸素や養分	心臓から送り出された血液は、全身のからだの各部分に酸素や養分を届ける役割を持っています。
問14	答え 吸う息	ヒトが呼吸で体の中に取り入れるまわりの空気のことを「吸う息」といいます。
問15	答え 全身に酸素と養分をたくさん送るため	運動で使われた分の酸素と養分を全身に届けるために、心臓が速く動いて脈はく数が増えます。
問16	答え じん臓の調節機能	じん臓の調節機能は、体に必要な物質を血液中にもどし、水分や塩分の量をちょうどよい状態に保つ大切なはたらきです。

- 問1 心臓が縮んだりゆるんだりして、体の中に血液を送り出す動きのことを何といいますか。
- 問2 心臓から送り出された血液は、からだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、かわりに何を受けとって心臓にもどりますか。
- 問3 口の中で食べ物とまざる液には、食べ物に含まれるてんぷんふくを別のものに変化させるはたらきがあります。この液のはたらきを何といいますか。
- 問4 肺や心臓の下あたりにある重さ約1kgの臓器で、小腸で吸収した養分をたくわえ、必要なときに全身に送り出すはたらきをしているものはどれですか。
- 問5 血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、必要なものを運んで再び心臓へもどる一連の流れを何といいますか。
- 問6 肺に送られて二酸化炭素を出し、酸素をとり入れて、ふたたび心臓にもどるものを何とよびますか。
- 問7 食べ物が歯などで細かくされたあと、だ液などによってからだに吸収されやすい養分に変えられることを何といいますか。
- 問8 手首などで感じるることができる脈はくのテンポ（速さ）は、体の中のあるものの動きと同じですが、それは何ですか。
- 問9 心臓がたえず動き続けることによって、全身に送られているものはどれですか。
- 問10 ヒトが体の中から外へ吐き出す空気はきだすのことで、吸う息に比べて酸素が減り、二酸化炭素や水（水蒸気）が多くふくまれているものを何といいますか。
- 問11 心臓のはたらきによって送り出された血液の流れでできるもので、手首などで感じることもできるものを何といいますか。
- 問12 タンパク質が体の中で使われるときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒な物質につくり変えたものを何といいますか。
- 問13 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中すいこむに吸い込む空気のことを何といいますか。
- 問14 運動をしたときに、心臓が速く動くことによって、ふだんよりも数が増えるものはどれですか。
- 問15 私たちの体の中で、血液を全身に送り出すはたらきをしている臓器はどれですか。
- 問16 空気中の酸素の一部を体にとり入れ、体の中でできた二酸化炭素を外にはき出すはたらきのことを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え はく動	心臓が縮んだりゆるんだりして血液を送り出す動きを「はく動」といいます。
問2	答え いらなくなった二酸化炭素	血液はからだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、不要になった二酸化炭素を受けとって心臓へと戻っていきます。
問3	答え だ液のはたらき	口の中で分泌されるだ液には、食べ物に含まれるたんぱく質を別のものに変化させるはたらきがあります。
問4	答え かん臓	肺や心臓の下あたりにある重さ約1kgの臓器はかん臓です。小腸で吸収した養分をたくわえて全身に送り出す役割を持っています。
問5	答え 血液の循環	血液が心臓から送り出されて全身をめぐる、再び心臓へ戻る流れを「血液の循環」といいます。
問6	答え 心臓にもどった血液	肺で二酸化炭素を出して酸素をとり入れた血液は、ふたたび心臓にもどります。
問7	答え 消化	食べ物を細かくし、だ液などの働きによってからだに吸収されやすい養分に変えることを消化といいます。
問8	答え 心臓のはく動	脈はくのはく動（速さ）は、心臓が血液を送り出すときのはく動と同じになります。
問9	答え 血液	心臓はポンプのように動くことで、血液を全身に送り出すはたらきをしています。
問10	答え はいた息	ヒトが体の中から吐き出す空気のことを「はいた息」といいます。吸う息に比べて、酸素が減って二酸化炭素や水蒸気が増えているのが特徴です。
問11	答え 脈はく	心臓から送り出された血液の流れによって生じるもので、手首などで触れて確かめることができるものを脈はくといいます。
問12	答え によろ素	タンパク質が使われたときにできる有毒なアンモニアを、かん臓が無毒に変えた物質をよろ素といいます。
問13	答え 吸う息	ヒトが呼吸で体の中に取り入れるまわりの空気のことを「吸う息」といいます。
問14	答え 運動時の脈はく数	運動をすると心臓が速く動くため、手首などで測る脈はくのはく数がふだんよりも増えます。
問15	答え 心臓	血液を全身に送り出すポンプのようなはたらきをしている臓器は心臓です。
問16	答え 呼吸	空気中の酸素を体にとり入れ、体内でできた二酸化炭素を外に出すはたらきを呼吸といいます。

問1 心臓から送り出された血液は、からだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、かわりに何を受けとって心臓にもどりますか。

問2 食べ物に含まれる水分が、小腸や大腸で体の中に取り込まれることを何といいますか。

問3 消化液のなかまで、胃から出されて消化のはたらきをする液は何ですか。

問4 心臓から送り出された血液が、全身に運ばれたときに、からだの各部分にわたすものは何ですか。

問5 かん臓は、小腸で吸収した何をたくわえて、必要なときに全身に送り出すはたらきをしていますか。

問6 食べ物に含まれる水分は、主にどの臓器で吸収されますか。

問7 じん臓の調節機能では、血液から不要物をこしとった後に、体の中の状態を保つためにどのようなことを行っていますか。

問8 ヒトが呼吸をするときに、まわりから体の中に吸い込む空気のことを何といいますか。

問9 体の中でできた不要なものうち、血液の中の不要なものや余分な水分がじん臓でこし出されてできた液体は何ですか。

問10 ぼうこうは、じん臓でつくられたようをどのようにする場所ですか。

問11 によるは、血液の中の不要なものや余分な水分が、どの器官でこし出されることでつくられますか。

問12 かん臓が、体の中でできたアンモニアをによる素につくり変えるのはなぜですか。

問13 肺にはたくさんの血管が通っていますが、肺が血液の中から受け取って、体の外へはき出す物質はどれですか。

問14 口から入った食べ物が、食道、胃、小腸、大腸を通過して、こう門から外に出るまでの一本の長い通り道のことを何といいますか。

問15 小腸で吸収された食べ物の養分は、何に入って全身に運ばれますか。

問16 血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、必要なものを運んで再び心臓へ戻る一連の流れを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え いらなくなった二酸化炭素	血液はからだの各部分に酸素や養分をわたしたあと、不要になった二酸化炭素を受けとって心臓へと戻っていきます。
問2	答え 水分の吸収	食べ物に含まれる水分が、小腸や大腸から体の中に取り込まれることを「水分の吸収」といいます。
問3	答え 胃液	胃から出されて消化のはたらきをする消化液は胃液です。だ液は口から出される消化液です。
問4	答え 酸素や養分	心臓から送り出された血液は、全身のからだの各部分に酸素や養分を届ける役割を持っています。
問5	答え 養分	かん臓は、小腸で吸収した養分をたくわえ、必要なときに全身に送り出すはたらきをしています。
問6	答え 小腸や大腸	食べ物に含まれる水分は、主に小腸や大腸という臓器で体に吸収されます。
問7	答え 必要な物質を血液にもどし、塩分や水分の量を一定に保つ。	じん臓の調節機能は、こしとったものの中から必要な物質を再び血液にもどし、体の中の水分や塩分の量を一定に調節しています。
問8	答え 吸う息	ヒトが呼吸で体の中に取り入れるまわりの空気のことを「吸う息」といいます。
問9	答え によ	血液の中の不要なものや余分な水分がじん臓でこし出されてできた液体は、によです。
問10	答え からだの外に出す前に一時的にためておく	ぼうこうは、じん臓でつくられたによを、からだの外に出す前に一時的にためておく役割をもっています。
問11	答え じん臓	によは、血液中の不要なものや余分な水分がじん臓でこし出されることでつくられます。
問12	答え 有毒なアンモニアを無毒な物質にするため。	アンモニアは体にとって有害な物質であるため、かん臓で無毒なによ素という物質につくり変えられます。
問13	答え 二酸化炭素と水（水蒸気）	肺は、吸った空気から酸素を血液にとり入れ、血液中から出された二酸化炭素や水（水蒸気）を外へはき出します。
問14	答え 消化管	食べ物を通る、口からこう門までつながった一本の通り道のことを消化管といいます。
問15	答え 血液	小腸で吸収された養分は、血液に入って全身に運ばれます。
問16	答え 血液の循環	血液が心臓から送り出されて全身をめぐり、再び心臓へ戻る流れを「血液の循環」といいます。